

〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町2丁目3-1
江陽グランドホテル内

仙台北ロータリークラブ 御中

御礼および「寄附金受領証明書」送付のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本学の教育・研究活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたびは、東北大学基金の趣意にご賛同いただき、心温まるご寄附を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。このご厚志は、本学の教育環境の整備や学生の支援のために大切に活用させていただき、これからの教育・研究活動の更なる充実を図ってまいりたいと存じます。

ここに略儀ながら、書中をもって厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今回本学にご入金いただきました寄附金の受領証明書をお送りいたしますのでご査収ください。

謹白

2021年7月2日

東北大学基金事務局(総務企画部基金・校友事業室内)
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
TEL : 022-217-5058・5905 FAX : 022-217-4818
E-mail:kikin@grp.tohoku.ac.jp

----- キリトリ -----

受領月日 2021年6月30日
第10002890号

寄附金受領証明書

宮城県仙台市青葉区本町2丁目3-1 江陽グランドホテル内

仙台北ロータリークラブ 様

金 500,000 円也

摘要：一般基金

上記のとおり寄附金を受領いたしました。

仙台市青葉区片平2-1-1

国立大学法人 東北大学
総長 大野 英男



上記の金額は、所得税法第78条第2項第2号及び法人税法第37条第3項第2号に基づき財務大臣が指定した寄附金に該当するものです。

(注1) この寄附金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金又は法人税法上の金額損金算入を認められる指定寄附金として財務大臣から指定されています。また、この寄附金は、個人住民税の寄附金控除の対象となる寄附金として宮城県、仙台市、多賀城市、石巻市、富谷市、亶理町及び女川町より指定を受けております。寄附金を支払った年の翌年1月1日現在上記地方公共団体にお住いの方は、所得税の確定申告をすることによって、個人住民税の寄附金税額控除が受けられます。個人住民税の寄附金税額控除のみを受けようとする方や、上記以外の都道府県・市区町村に在住の方は、各地方公共団体にご確認ください。

(注2) 新入学生のご父母等または新入生ご本人から「入学願書受付の開始日から入学が予定される年の年末まで」の期間内にお納めいただきました寄附金は、所得税法第78条第2項本文かつこの規定により、上記、所得税及び個人住民税の寄附金税額控除の適用外になる場合もあります。このことについてはお手数ですが、お住まいの地域の税務署にご確認ください。

(注3) 上記の措置を受けるために、確定申告に際してこの証明書が必要となりますので、相当期間大切に保管してください。

仙台北ロータリークラブ

会長 沼倉 和彦 様

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、「東北大学基金」に貴重なご寄附をお寄せいただきまして、誠にありがとうございます。ご寄附の趣旨に沿い、本学の教育研究を一層充実させるため、大切に活用させていただきます。

本学は、1907年の建学以来、「研究第一主義」、「実学尊重」、「門戸開放」の理念を掲げ、卓越した研究に挑戦し、社会との連携を通して新たな価値を創造する研究大学として発展してまいりました。

これまでの歴史と伝統の中で築かれた基盤の上に、より一層の発展をもたらすためには、平和と発展の枠組みづくりに貢献する人材、社会変革を駆動するイノベーション創出に貢献する人材、そのような未来を担う人材の育成こそ、本学の最も重要な使命であり、本学の三つの理念は、東北大学らしい人材の育成のために堅持すべき基本指針であると考えています。

社会と深く関わりながら新たな知を創造し、海図のない未来の社会を切り拓き、国際的な視野を持って世界の平和と発展に貢献できる人材を育成し、世界最先端の研究成果を社会に還元する、教育、研究、社会連携の好循環を確立し、「創造と変革を先導する大学」として社会からの負託に応えていきたいと考えております。

本学は2017年6月に指定国立大学法人に指定されました。今後、グローバル化した世界で存在感を発揮するとともに、世界の変化を先取りしたさまざまな取組に挑戦し、あらたな地平を開拓すべく邁進してまいります。そのためには、皆様のご理解とご支援が不可欠です。

このたびのご誠意溢れるご芳情に重ねてお礼申し上げ、ご意向に報いることとお約束し感謝の意とさせていただきます。

末筆ながら、貴クラブのますますのご健勝を祈念いたします。

敬 具

令和3年7月2日

国立大学法人 東北大学

総 長

大野英男